

4月20日（水）

「2年理数科課題研究のための講演会&広島大学 GSC 説明会

4月20日（水）6・7限に、広島大学生物生産学部 兼 広島大学 GSC 担当の西堀正英先生を招いて、「2年理数科課題研究のための講演会&広島大学 GSC 説明会」を開催しました。

課題研究のための講演会では、課題研究の進め方（「観察」→「仮説」→「検証」→「考察」の流れ）についてご講演いただきました。特に「観察」することについては、日常生活において、様々な現象・事象について行うことによって、「疑問」が生じ、それが研究のきっかけとなりうることなど、具体的な例を挙げながらご説明いただきました。生徒たちも、これから課題研究を行うにあたり、物事を様々な視点でみることや、発想の逆転、また「なぜ」と疑問に思うことなどが大切であると感じていました。

広島大学 GSC の説明会では、現在広島大学が行っている「グローバル・サイエンス・キャンパス」についての取り組みをご説明・ご紹介いただきました。短時間でしたが、生徒たちの反応もよく、とても意欲的に聴いている様子でした。

今回の講演を経て、課題研究を行う上での重要な点について学べたという感想もあり、充実した講演会でした。



西堀先生 プロフィール

広島大学生物生産学部准教授
広島大学大学院生物圏科学研究科
研究者養成特別コース担当

広島大学 GSC（グローバルサイエンスキャンパス）担当

・主に鳥類（特にキジ目、カモ目）や哺乳類家畜（特にブタ）について、分子系統学的解析や有用遺伝子の解析、新たなゲノム情報解析の手法について研究を行っている。

（広島大学大学院生物圏科学研究科・家畜育種遺伝研究室 HP より引用）

広島大学 GSC

科学に興味を持つ高校生のために大学の中で行っている最先端の理科系の講義や実習、研究開発に触れる機会を提供するプログラム

将来国際的に活躍できる人材を目指して、実際に大学で数回にわたって学び大学の先生や仲間の生徒と科学について議論したり、自分の研究のポスターを作ったり、英語で発表するような様々な学習機会を組み込んでいる。

（広島大学 GSC HP より引用）